

第20回定例セミナー(日生オアシス和光 現地見学会)について

1. 施設概要

施設名: 日生オアシス和光(サービス付き高齢者向け住宅)

対応者: 永井暁良 和光エリア長

住 所: 埼玉県和光市新倉2丁目5番49号

東武東上線・有楽町線・副都心線 和光市駅下車 徒歩12分

和光市駅北口から和光高校循環 新倉小学校前下車 徒歩1分

HP <http://www.jlsri.com/oasis-wako/>

(当日スケジュール)

14:30～15:15 コンセプト等概要説明

15:15～15:45 現地見学

15:45～16:00 質疑応答

2. 参加者

平成27年9月 7日(月)参加者15名

16日(水)参加者17名

※ 入居済みであり見学者の人数限定があるため、2日に分けて実施した。

3. 施設概要

日生オアシス和光 永井和光エリア長から、次のとおり同施設の概要説明があった。

同施設は、国土交通省高齢者等住宅安定化推進モデルとして採択された。

在宅療養支援診療所、調剤薬局、訪問介護、通所介護、24時間体制の定期巡回・随時対応型訪問介護看護、居宅介護支援の多種多様な介護事業所が併設され、医療・介護が充分整ったサービス付き高齢者住宅である。地域交流スペースが設置されており、入居者だけでなく地域住民も体操等を行っている。

介護予防サービスやマシントレーニングなどにより、高齢者の生活機能を改善し、「元気高齢者の多いまち」を目指す和光市の高齢者施策の一翼を担う施設となっている。同施設の開設から現在に至るまでの経緯、入居率90%以上を誇る稼働率、拠点型サービス付き高齢者向け住宅として地域に貢献している。



施設外観



併設クリニック及び調剤薬局

株式会社日本生科学研究所が同施設を事業化するきっかけは、平成19年に和光市にある新倉高齢者福祉センター（介護保険法に基づく地域密着型サービスとなる「指定介護予防小規模多機能型居住介護」と地域高齢者交流施設となる2つの機能を備える）の指定管理者となったことである。

平成20年に和光北地域包括支援センターの指定管理者となり、その後、国土交通省のモデル事業の公募で日生オアシス和光が誕生した。

平成27年11月8日（日）には、安倍首相が同所を視察され、利用者・介護職員等と懇談された。

http://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/actions/201511/08saitama.html

同施設はサービス付き高齢者向け住宅の住宅としては広めの約25㎡であり、2・3Fはサービス付き高齢者向け住宅（台所・浴室が無いタイプ）、4Fはサービス付き高齢者向け住宅（台所付・浴室付）に分かれている。2F・3Fに空きが無いため、4Fに入居した後に2F・3Fに転居される高齢者もいると伺う。

（パンフレットより抜粋）

2・3Fサービス付き高齢者向け住宅

	Aタイプ(25.06㎡)	Bタイプ(26.74㎡)
戸数	27戸	2戸
入居契約	定期建物賃貸借契約10年	
入居条件	60歳以上単身者限定	
間取り	1R(居室・収納・トイレ・洗面)	
入居時 敷金	246,000円	255,000円
家賃額	82,000円	85,000円
管理費(消費税別)	21,000円	
生活支援サービス費(消費税別)	35,000円	
食費(3食30日消費税別)	48,000円	
合計	186,000円	189,000円

- ※ 管理費には、居室の水光熱費を含みます。
- ※ 生活支援サービスは、1日2回の安否確認、生活相談、緊急時の対応等を含みます。
- ※ これ以外にかかる費用として、介護保険の自己負担分、おむつ代、理美容費、医療費など個人にかかり費用は別途負担となります。
- ※ 介護保険の定期巡回随時対応型訪問介護看護を利用します。
- ※ 4Fサービス付き高齢者向け住宅も家賃等は同料金。食事サービスが必要に応じて受けられます。

(ここまで)

4. 施設見学

セミナー参加者は2班に別れて、1Fデイサービス・、2・3Fのサービス付き高齢者向け住宅(台所・浴室が無いタイプ)、4Fのサービス付き高齢者向け住宅(台所付・浴室付)を見学した。

1Fのデイサービスでは、みんな賑やかに明るい雰囲気がありました。在宅の方は出来るだけ在宅で長くいられるように予防介護が盛んで、要支援2の方がデイサービスを利用することにより、かなりの頻度で自立に変更になり卒業するそうです。

見学時も多くのデイサービスの利用者が、楽しそうに歓談している姿が印象的でした。



1F デイサービスの見学



1F デイサービスにある本日の行動予定ボード

和光市には坂が多いため高齢になると歩行が不自由になり、自宅に閉じこもり気味となって筋力低下を起こしていた。そのためデイサービスで下肢筋力強化のメニューを増やしている。同施設の裏庭の場所に、坂道訓練用の坂を作り在宅で生活ができるようにトレーニングしている。坂道にはウッドチップを敷設し、転倒時にダメージを少なくする配慮をしている。



歩行訓練用の坂道



歩行訓練用の裏庭

4Fのサービス付き高齢者向け住宅は台所付・浴室付であり自炊されているため、食事を頼む人があまりいないようである。また、建物が高台にあり、見晴らしは良く静かな環境。共用廊下のフロント前にリビング・ダイニングがあり、楽しそうに歓談されていた。



4F 住宅内見学の様子

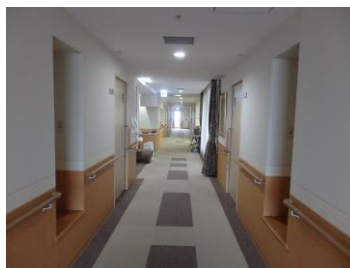


4F 住宅内台所

2・3F のサービス付き高齢者向け住宅は、4F と異なり浴室・洗面所・トイレの位置がトイレと洗面所となっており介護がしやすくなっていたこと、台所・冷蔵庫置き場・洗濯機置き場が2・3Fでは廊下となっており住宅内が広々としていた。



3F 住宅内リビング



3F 共用廊下

5. 質疑応答

和光市の高齢者施策と同施設のかかわりについての質問が参加者の皆様から多数出て、永井様にご回答いただきました。

同市は介護予防や地域密着型サービスなど全国に先駆けて取り組んだ結果、要介護者の割合が全国平均 16%に対して約10%と大幅に少なくなっている。この結果、介護保険料を今回の改定で値下げをした。

同施設のケアマネジャーは月5回程度コミュニティケア会議が開かれ、市の職員、地域包括支援センター、アドバイザー（看護師等）が出席し、担当している高齢者のケアプラン及び介護サービスを実施した結果等を報告する。できるだけ介護度を軽くすることが求められている。

入居促進は市からの紹介がほとんどであり、募集宣伝をする必要がない。市内には、サービス付き高齢者向け住宅3か所、特別養護老人ホームが1か所しかないため適正規模となっており、過当競争となっていない。



6. まとめ

市が要介護者をしっかりプランニングしており、同施設が高齢者施策の一翼を担う施設となっていること、看取りまでしており、終の棲家となることがわかりました。

ホームページ及びパンフレットでは分からない事が、実際の訪問によって雰囲気も分かり大変勉強になりました。

見学に関して、日生オアシス和光 永井暁良和光エリア長をはじめ職員の皆様に大変お世話になりました。

参加者の皆様、誠にありがとうございました。

以上

文責 塩塚